

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和2年6月解析分)

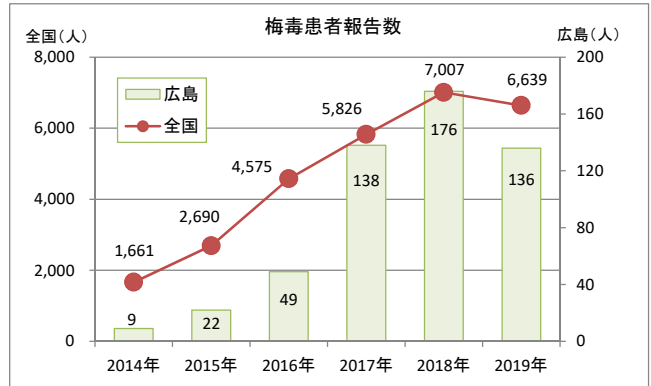
1 今月のトピックス ～ 梅毒 ～

■ 県立保健所で梅毒検査を実施しています（HIV検査含 無料・匿名・要予約）

近年、性行為などで感染する梅毒の患者が全国的に急増しています。本県においても、2017年から2019年にかけて3年連続で患者報告数が100件を上回っています。

梅毒は早期に治療をすれば完治しますが、放置して進行すると脳や心臓に合併症を引き起こすだけでなく、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、死産や早産、新生児死亡等様々な障害を引き起こす可能性があるため早期発見・早期治療が大切です。

現在、県立保健所（支所）においては無料で梅毒検査を実施しています。



広島県 梅毒検査

検索

■ 梅毒とは？

【病原体】梅毒トレポネーマ

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触（主に性的接触）

【予防方法】コンドームの使用（ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染の可能性あり）

【症状】

感染後3週間

- ・感染部位（陰部、口唇部、肛門等）のしこり
- ・鼠径部のリンパ節腫脹



感染後3か月

- ・手のひら、足の裏、体全体の発疹（バラ疹）、乾癬



感染後数年

- ・皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍
- ・心臓、血管、脳などの複数の臓器の病変

(写真提供) 一般社団法人日本性感染症学会

■ 県立保健所（支所）における梅毒検査（要予約、無料、匿名、即日）

【検査概要】

- ・TP法（イムノクロマト法）を用いた血液検査。HIV検査と同時実施
- ・採血後、約1時間程度で結果が判明

【検査を受ける時期】

- ・正確な判定のためには、感染の可能性のあった日から3か月を経過している必要があります。

【結果が陽性の場合】

- ・医療機関を御紹介します。詳しい検査を医療機関で受けてください。
- ・なお、過去に梅毒の感染歴・治療歴がある場合はTP法では陽性と判定されます。医療機関で検査を受けて、治療が必要か否か、診断していただくことが必要となります。

梅毒検査の予約、会場及び日程の詳細は、[広島県のホームページ「梅毒検査について」](#)（[広島市](#)、[福山市](#)、[呉市](#)での検査を希望する場合の問合せ先を含む。）をご覧ください。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和2年5月分(令和2年5月4日～令和2年5月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1	0.00	0.28		10	ヘルパンギーナ	4	0.01	0.38	
2	RSウイルス感染症	0	0.00	0.16	↓	11	流行性耳下腺炎	14	0.05	0.43	↘
3	咽頭結膜熱	30	0.11	0.87	↓	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	99	0.35	2.74	↓	13	流行性角結膜炎	11	0.14	0.89	↓
5	感染性胃腸炎	355	1.27	6.26	↘	14	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	水痘	19	0.07	0.31	↘	15	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
7	手足口病	13	0.05	0.99	↑	16	マイコプラズマ肺炎	3	0.04	0.13	
8	伝染性紅斑	20	0.07	0.21	↘	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	83	0.30	0.45	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.33	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和2年5月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	68	3.09	2.55	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	57	2.71	3.04	↘
20	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.86	0.76	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.37	
21	尖圭コンジローマ	11	0.50	0.64	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.02	
22	淋菌感染症	21	0.95	0.90	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)	急増減	↑	↓	1:2以上の増減
○急増疾患 手足口病 (0.02 → 0.05)	増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
○急減疾患 RSウイルス感染症 (0.08 → 0.00)	微増減	↖	↙	1:1.1～1.5の増減
咽頭結膜熱 (0.24 → 0.11)	横ばい	→		ほとんど増減なし
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (0.89 → 0.35)				
流行性角結膜炎 (0.45 → 0.14)				

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五类等感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)[西部保健所(1),東部保健所(2),北部保健所(2),広島市保健所(13),呉市保健所(4),福山市保健所(7)]
三類	1	腸管出血性大腸菌(1)[福山市保健所(1)]
四類	17	A型肝炎(1)[西部保健所(1)] 重症熱性血小板減少症候群(2)[広島市保健所(1),福山市保健所(1)] 日本紅斑熱(13)[東部保健所(8),呉市保健所(2),福山市保健所(3)] レジオネラ症(1)[広島市保健所(1)]
五類	13	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)[西部保健所(1),東部保健所(1),北部保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(1)] クロイツフェルト・ヤコブ病(1)[広島市保健所(1)] 侵襲性肺炎球菌感染症(2)[西部東保健所(1),東部保健所(1)] 梅毒(4)[広島市保健所(2),呉市保健所(1),福山市保健所(1)] 百日咳(1)[西部保健所(1)]
指定	8	新型コロナウイルス感染症(8)[北部保健所(1),広島市保健所(6),福山市保健所(1)]